

兄弟げんか

お父さん、お母さんにとって兄弟げんかの対応はとても大変で悩んでしまうことが多いですね。まず、大人が裁判官にならない事です。調整役（橋渡し）になってあげる事です。どちらにも言い分があり、お互いに口惜しい気持ちや悲しい気持ちを持っているのだという、その子どもの思いや訴えを聴いてあげることができれば半分は解決かもしれません。お互いに気づかなかった相手の気持ちを知ってじゃあどうしたらいいか、それを考えるのは子どもたちです。

けんかの原因になったことや自分の思いが、たとえ思い通りにならなくても、口惜しい思いが残ったとしても大人が一方向的に白黒つけるよりはずっと良かったと思えるかもしれません。そして、この兄弟げんかの経験は、まわりの友だちとのけんかや関係にも役立つことになっていくのです。



子育て応援カード 14
鶴岡市子育て支援推進委員会